

第3講座 【情報活用教育】

提案者

横浜市立いぶき野小学校 伊藤 裕也

横浜市立小山台中学校 山村 泰弘

助言者

横浜市教育委員会指導主事 松田 裕
司会者

横浜市立奈良の丘小学校 武井 三也

記録者

横浜市立常盤台小学校 東森 清仁

提案内容（1）

『情報モラルを考える』

～タブレットPCを使って～

1 提案趣旨

子どもたちを取り巻く情報環境の変化に伴い、利便性の向上とともに様々な問題も発生している。そこで、今回は相手を思いやる気持ちを重視しながら、情報モラル教育に取り組んだ。

実際に取り組むにあたり、インターネットや携帯電話の使用状況についての事前調査を行った。当該学級では携帯電話の所有率が約6割、インターネットの使用率は95%という状況である。

学習の展開は3次に分けて行った。1次がデータのコピーに関して、アナログ方式とデジタル方式の違いをゲーム感覚で学ぶ内容、2次がネットワークの仕組みをゲーム感覚で学ぶ内容、3次が学習のまとめとして、情報モラルについて児童が考えるという内容である。

子どもたちが、ネットワークの仕組みを理解するとともに、実際にゲーム形式で楽しみながら、ネットワークの向こうにも相手がいるということを学ぶことができた。また、相手意識を考えた言動を意識することができるようになった。今後さらに増加していくであろう諸問題に対応していくために、情報モラル教育の質を高めるとともに、児童のコミュニ

ケーション力を高めていきたい。

2 協議内容

各学校のモラル教育の様子を交えながら、質疑応答が進められた。主なやり取りは次の通り。

「この学習に取り組む前後での、子どもたちの様子の変化について知りたい。」

「相手に対する言葉遣いから、相手意識の不足を感じていたが、思いやる態度の指導ができて、子どもたちの発言にも相手を思いやる気持ちが表れ始めた。」

「相模原の中学校では昨年度ハンドブックを発行し、指導・活用についての研究をした。しかし、LINEなどのコンテンツでいじめの動画を流す行為があり、学校が把握できない大きな問題が山積みになっている。」

「小学校では、懇談会で資料を配布したり、警察や業者の方に講演をお願いしたりしている。家庭でも、実際にどう指導してよいか分からないという声もあるので、保護者にも積極的に参加してもらい、お互いの共通認識をもてるよう努力している。」

「LINEでも、現実世界のいじめ問題でも、相手の気持ちを考える力、実際に人をいじめることがどういうことに結び付いてしまうかを考え、深く理解する力が必要。今回の取り組みを、家庭にも届けられるようにしていきたい。」

「他者をいじめることがいけないことだと理解はできても、実際の行動に結び付いていないという問題もある。いじめがだめだと言える実践力をつけるのは道徳的な課題。人間教育は利益、不利益ではなく、心情的、道徳的問題として考えなくてはならない。」

3 指導助言

情報モラル教育は私たちにとって悩みの種のひとつだが、今回の提案では楽しみながらゲーム感覚で学べるという工夫があり良かった。情報技術は子どもたちの生活にも入りこんできているので、その特性に応じた対応を

学ぶことも大切である。

また、コミュニケーションの在り方について考えさせることも大切。スマートフォンの向こうにはどんな人がいるのか、相手の気持ちを思いやるということの大切さを繰り返し伝えようとしていた点が評価できる。

また、情報化社会を生き抜いていく力をつけさせることも大切。現実社会のでの利益、不利益を良く考え、どのように行動することが正しいのかを理解し、実践する力を身につけさせていきたい。そのためには、家庭との連携も必要、本人のモラル意識を育てるのは、家庭と学校のどちらも大切な役割を果たしていけるだろう。

提案内容（２）

『中学校社会科における 50 インチ TV の活用』 ～セットトップボックスの活用～

1 提案趣旨

横浜市の中学校では、校内サーバに蓄積した動画や音声、画像などを各教室の大画面テレビで視聴することができる。

視聴に関しては、各教室の大画面テレビに接続されたセットトップボックスを操作することが必要だが、リモコン操作だけで視聴でき、扱えるファイルも多く、汎用性が高い。

校内 LAN の回線を通してデータのやり取りをするので、学校の状況によっては通信速度の低下、画像の乱れなどが出ることもあるが、画質を抑え、データ量を少なくしたり、配線を見直したりすることで対応している。

2 協議内容

機器の活用について、学校の現状を交えながら質疑応答が進められた。主なやり取りは次の通り。

「デジタル放送が映らない学校もあるので、小学校にも早く入ってほしい。朝の歌や、学習状況調査のヒアリングテストなども端末操作でできるので効率的。ただ、デジタルビデオカメラの接続の仕方が複雑な点と、端末をリモコンでしか操作できない点については、

今後の改善を期待したい。」

「小学校への設置についても検討中。ただし、著作権については十分注意して使用してほしい。たとえば、デジタル放送であれば授業の中で録画したコンテンツを利用することは認められているが、サーバに録画データを蓄積して複数の教員が利用することは現状認められていない。取り扱いには著作権の知識が必要になってくる。」

「相模原では以前にコンテンツサーバと呼ばれるものがあったが、汎用性が低かった。今回提案された機器はいろいろなメディア形式を扱えるので非常に汎用性が高い。相模原市では、今後コンテンツサーバとセットトップボックスの統合を進めていく予定。」

「昼の放送でセットトップボックスを活用している。通信がダウンしたこともあるが、再起動で復旧できる場合が多い。操作がリモコンだけということもあり、家庭のテレビを操作する感覚で扱えるので使い勝手がよい。」

3 指導助言

映像の受信についてのトラブルに関しては、ネットデイで設置したケーブルが旧式のものであることも原因の一つとなる。デジタル放送の配信にはギガビットベースの通信環境が必要になるので LAN の設置状況を確認しておいて頂きたい。

好きな映像を好きな場所で見られるということはセットトップボックスならではの利点。逆に LAN の回線を利用して各教室からデータを保存したり、場合によっては生中継をすることもできる。

スクールニューディールで中学校に設置され、活用状況が気になっていたが、今回の報告を聞き安心した。映像があることで児童の取り組みの意欲も違ってくる、今後もぜひ活用していただきたい。